

# 1. 学校経営管理全体計画（構想）

## 滋賀の教育行政の基本目標

未来を拓く心豊かでたくましい人づくり  
—学び合い支え合う「共に育つ」滋賀の教育—  
学校教育推進の重点

1. 確かな学力
2. 豊かな心
3. 健やかな体
4. 滋賀の自然や地域と共生する力
5. 共生社会に向けた多様なニーズ対応
6. 多様な進路・就学の実現
7. 魅力と活力ある学校
8. 教職員の教育力
9. 安全・安心な学校

## 湖南市の学校教育の基本目標

豊かな心を持ち、自ら考え自ら行動し、たくましく未来を切り拓くことができる「社会を生き抜く力」をもった人間の育成。

## 学校教育推進の基本

1. 「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」の育成
2. 共生社会に向けた多様なニーズへの対応
3. 教職員の教育力の向上
4. 安全・安心な学校づくり
5. 地域に根ざし、開かれた学校づくり

## 教育目標

自主・自立・進取の気構えを持ち、真心と思いやりを持つ生徒を育てる。

○「人権・仲間づくり」を核にした学校づくり  
(容認・支援・自立のプロセスの重視)  
地域や生徒の現状から、生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、全教育活動を通して、人権意識を高めるとともに、学級・学年・全校で「支えあう仲間づくり」を推進する

### ○めざす生徒像

#### 1. 自ら考える生徒

人の話をよく聞き、物事をよく見て、自分でしっかりと考える

#### 2. 汗を流す生徒

自分で考えたことや判断したことを身体を使って成し遂げようと絶えず努力し、心と身体を鍛える

#### 3. 心の温かい生徒

相手を思いやり、人の立場に立って話し、行動して、社会に貢献できること

## 地域・生徒の実態

### ○地域

- ・東海道の宿場町（石部宿）として、古い文化と歴史を持っている。
- ・福祉施設が多く、三雲養護学校や近江学園もあり、学園からの通学する生徒もいる。
- ・ニューカマー（新渡町）の住民だけでなく、オールドカマー（朝鮮・韓国）の方々の割合も比較的多い。
- ・自治会組織率が低く、校区で自治体に参加していない世帯が少なくない。（約半分）

### ○生徒

- ・行事等に積極的に参加し、明るく行動する。
- ・様々な環境（家庭環境など）が影響し、精神的に不安定な生徒が少なくない。
- ・地域の状況も影響し、同学年の繋がり（仲間意識）や上下の繋がり（先輩・後輩）が薄い。
- ・コミュニケーション能力が低く、交友関係などの課題も少なくない。

**スローガン：全 力 投 球**

## めざす教師像

熱意と受容で生徒に接し、生徒や保護者、地域と関わる行動力がある教師

- \* 教師としての使命や責任を自覚し、豊かな人間性で信頼される教師
- \* 共通理解の上に立った生活指導ができる教師（全校が一枚岩の如く）
- \* 学校の教育課題に正面から取り組む熱意と行動力を持った教師
- \* 受容の気持ちを持って生徒に接する教師
- \* 大人としての毅然とした態度をもつ教師
- \* 幅広い視野を持ち、社会の変化に対応できる教師

## 本校教育推進の基本

### 1. 教育活動の面から

- \* 確かな学力を身につける授業づくり
- \* 効果的な学習集団づくりや家庭学習の充実
- \* 石中B Sタイムなどを活用した基礎学力の定着

### 2. 生徒指導の面から

- \* 自尊感情・規範意識の育成と仲間づくり
- \* ホウレンソウによる生徒指導の体制づくり
- \* 特別支援教育などによる多面的な指導
- \* SCや関係機関との効果的な連携

### 3. 特色ある学校づくりの面から

- \* 仲間や集団づくりをめざす人権総合学習の推進
- \* 校区連携や中学生ジャンプ交流の推進

# 今年度の重点目標と具体的方策

## 学びの場

### (1) 確かな学力の向上をめざした学習指導の推進

- ①「ねらい」と「振り返り」を実践し、「わかる授業づくり」に努める。
- ②学校や家庭での学習習慣を定着させ、学ぶ意欲を育成する。
- ③授業研究会・授業公開を積極的に実施し、教師の授業力向上に努める。
- ④数学科における少人数授業を実施し、基礎学力の定着ときめ細かな指導を推進する。
- ⑤帰りの会前10分間に【石中BSタイム】を設定し、基礎学力の定着を図る。

### (2) 意欲的・主体的な学習態度の育成

- ①人の話（教師の話、生徒の発表・発言など）をしっかりと聞く態度を中心に基本的な学習態度を育成し、主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。
- ②学校司書と連携しながら、学校図書館を活用した授業を推進する。
- ③英語検定・漢字検定・数学検定へ積極的にチャレンジさせ、学習意欲を喚起する。
- ④日本語教室を中心に、外国人生徒に対して、個々の生徒の状況に合わせた支援や指導を行う。
- ⑤個別指導計画に基づく特別支援教育や授業改善を推進する。
- ⑥少年センターや中央児相などの教育機関や地域の支援機関：「青少年指導支援の会」との連携によるきめ細やかな個別指導の体制づくりと支援を行う。

## 心を鍛える場

…… RGH（読書・あいさつ・人間関係）運動の推進

### (3) 豊かな人間性や社会性を培う「心の教育」の推進

- ①今秋の道徳研究発表会の成功に向けて精力的に取り組むとともに、全教育活動を通じて、自尊心の育成に努める。
- ②「人権・仲間づくり」をめざした総合的な学習の時間を実践・継続する。  
・Guest teacher(ゲストティーチャー)やAdviser(アドバイザー)等の積極的な活用による多面的な指導を行う
- ③「いじめ」に気づき、「いじめ」をしない・させない集団づくりに努める。
- ④5日間の2年生職場体験学習を実施し、働くことの意義や将来への展望を持たせる。
- ⑥様々な教育活動の場で、「適切なことば遣い(敬語等)」の指導を継続する。
- ⑦元気よく・気持ちの良いあいさつができる学校づくりに努める。

### (4) 豊かな心と感性を育む読書指導・読書活動の推進

朝の読書(10分間)を継続し、読書から「落ち着いた1日」が始まるように努める。

### (5) 人が輝く人権教育の推進

- ①全教育活動を通して、人権意識を高めるために「自ら考え・汗を流し・心温かい」集団づくりを推進する。
- ②文化祭の人権劇(生徒)や総合的な学習を通して、人権意識の高揚を図る。
- ③3学期に保護者や地域の方々に呼びかけ、人権教育の授業研究会を開催する。

## 体を鍛える場

### (6) 一人ひとりが各自のねらいを持った体力づくりを推進する。

- ①[縦割り集団]による体育祭を継続する。
- ②伝統の『石中ウォークラリー』を行い、3年間全踏破を目標に生徒の心身を鍛える。
- ③保健体育の授業を通して、基礎的な体力づくりや生涯スポーツへの素養を育成する
- ④部活動(運動部・文化部)への積極的な参加を促す。

- 学校評議員の支援・協力      ○校報「全力投球」の発行      ○石中HPの活用  
○地域の組織や関係者(青少年指導支援の会・石部交番・区長・民生委員・児童委員等)との連携  
○石部中学校区連携事業(石部小・石部南小との連携)      ○福祉施設との連携(1年ふれあい交流など)

## 目 標

- 「すべての人が安心して生活できる学校」
- 「学校内や地域で明るく挨拶ができる学校」
- 「わかる授業づくりをめざす学校」